

高校生の皆様へ

メールばかりだと論理性ばかりか感情もやせ細る？

そう、文を書く際には人それぞれのスタイルがあるはずですが、

ところが昨今文章といえばメールのみ、という高校生は、

日本語の文章を「文体」として識別出来たり、

自分独自のスタイルを持ったりすることが出来るでしょうか？

ソーシャルメディアは短文が支配する世界です。

例えば「今回の不如意、残念」という文の中には、

短文でも漢文に影響された文体がありますが、

メールの短文はそのようなものではありません。メールの短文ばかりに触れていると、

思考の仕方もそれなりのものになってしまう。

長い文脈をもって思考できなくなるのです。

つまり論理性がどんどん欠如していきます。

高校生が国語の評論や英語の長文読解が苦手なのは当然といえましょう。

長文の構造把握ができますか？ 国語評論文問題の本文抜粋

近代産業化が対処する問題は、例えば国民的な次元での貧困の救済であり、世界的な政治的抑圧の構造の解消であり、さらには教育の平均水準の向上や基礎的な衛生状態の改善などが、その典型的なものと考えられる。それらは問題として普遍的であるばかりか、世俗的な性質からして一般的に理解されやすい問題であり、これに有効的に対処することは、一時代の価値観を等質化するうえできわめて効果的であったのは、明らかだろう。そして、近代産業化は事実、こうした問題の解決に目覚ましい有効性を見せたのであって、その結果、ひとつの時代を明確に区画するうえで、強力な説得力を発揮することになった。すなわち、「近代」、「前近代」という時代区分は、たちまち地球規模の普及のひろがりを見せ、おそらく人類史上、最大の適用範囲を誇る時代概念になったといえる。これによって、かつて自然と呪縛の世界にのみ生きていた民族は、たぶん初めて歴史の概念に触れたのであるし、一方、産業化の点で先進的な国民は、従来の「歴史主義」を抜きがたい固定観念にまで定着させることになった。

したがって、「歴史主義」の理論的な批判者「私たちは、この世界観の偏りを非難し、人生には別の見方も別の世界もあることを指摘しようとしたのだが、これが容易に影響力を持ちえなかったのは当然であった。たとい、この世界観の視野がどれほど狭かろうと、少なくともその視野のなかには、それによって捉えられ、それによって説明可能な圧倒的な現実があったからである。以下略

学志舎

岐阜市で26年の塾運営経験を活かし、お子さまのレベルに合わせたカリキュラムを組み立て、徹底した自律学習指導を行っています。

小説のようにストーリー性があれば大丈夫というかもしれませんが、

本をあまり好まず会話表現ばかりのメールに埋もれた生活だと、(つまりメールの文字変換候補の中だけでは)語彙がやせていきます。

例えば「鼻白む」(かつてセンター国語の小説で設問となった)はわかるでしょうか？

語彙がやせていると、日本語の小説さえも読めなくなるでしょう。

語彙がないということは「文」を読むという能力の衰えを超えて、「感情」までもやせ細っていきます。

ツイッターで使う『お気に入り』・Facebookの『いいね』・Lineの『スタンプ』となると、



すべて単純化されてしまって、感情さえも細かく分けることができなくなっているのではないのでしょうか。

Facebookに掲載された写真や文章を見て、本当は「いいね」ではなく、「素敵」・「イカす」・「シュール」・

「滑稽」・「健気」・「納得」など、もっと細分化された感情が湧くはずですが、

→「滑稽」にさえ、プラスとマイナスの面があります。(笑殺)と(笑止)では笑う口元が違います。

末尾にwwwでは口元がわかりません。

→古文の「うつくし」は「かわいい」と訳しますが、(小さい) or (幼い)ものに対して使うという条件がついていました。

感情が細分化して表現できる「言葉」があるということです。

この感情もその感情語を持っている人にしか感じられません。

例えば「美しい」ということばを知らない幼児は「きれい」とは思っても、決して「美しい」とは思えません。

我々の年代はどっぷりとアナログに浸って過ごしてきた世代であり、その上での現在のデジタルツールです。

それに対し、今の高校生のように、生まれた時からデジタルツールが当たり前世代は、

かなり意識的にアナログっぽく文章を読んだり、書いたりしないと、冒頭の「文体」などというものが持てなくなり、

論理的にとらえられず、さらに感情までやせ細るといった危険性が高いといえましょう。

最後に、女流作家の幸田文(センター試験出題作家)の文章においては

寒さは「ゆるむ」ですが、冷たさは「ほどける」

と表現されています。「寒さ」と「冷たさ」とは違います。

だから、それが暖化していく様を表す動詞も違うのは論理的であり、かつ感性的です。

デジタルツールを使いこなす時代だからこそ、

もっと本を読まないといけないということ、ですね。

詳細はHPを御覧ください

春期講習会2023

自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」と言われる昨今、学志舎は「学力」=「学ぶ力」すなわち「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。



勉強の習慣付けを徹底

小学部

中学・高校の6年間で花開く「基礎学力」を徹底して作るコース



朝6時オールナイト学習会終了

中学部

高校受験のための教科力と自律の養成を徹底して行うコース



合格おめでとう!

高校部

本格的な大学受験のための学力形成を徹底して行うコース

褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、26年の経験の中で間違いありません。学志舎は20年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。

詳細はHPを御覧ください



https://gakushisha.com/

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎058-265-4562

【感染症対策実施中】

学志舎

検索